

FMステレオ/AMラジオ

取扱説明書・保証書

SRF-19

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

△警告 この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



* 4 7 3 1 3 5 9 0 3 * (1)

©2018 Sony Corporation

Printed in China

保証書

持込修理

品名	ラジオ
型名	SRF-19
お買上げ日	年 月 日

本書は、本書記載内容（下記記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問い合わせ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<https://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から 1年
お客様住所 お名前	電話 - - 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。

※2 (1) (2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合は有料となります。

(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後による修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設・輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用的な製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-5

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
 - 温度が非常に高い所(40°C以上)や低い所(0°C以下)
 - 直射日光のある場所、暖房器具の近く、照明器具の下など、温度の高い所。
 - 風呂場など湿気の多い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
- 落したり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシングカード・定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 別売りのヘッドホンをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口に相談してください。
- 防滴機構になっていませんので雨や雪、水しぶきのかかるところでは充分にご注意ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買上げ店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは ソニーの相談窓口またはお買上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理期間内の故障でも次の場合は有料となります。

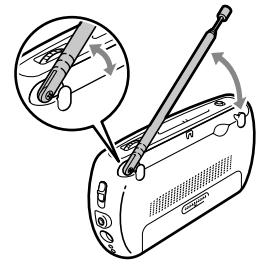
- (1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後による修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設・輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換



ロッドアンテナの取り扱いについて

アンテナを立てるとき

アンテナの構造上、図のように上下方向にしか動かせません。



アンテナの破損に注意

不適切な方向へ動かそうとすると、アンテナを破損する恐れがあります。



アンテナ折れに注意！
付け根の破損に注意！

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	電池を入れる向きが正しくない。	電池を正しく入れる。
電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。 乾電池使用時、乾電池を2本とも新しいものと交換する。	
音量が最小になっている。	音量つまみで音量を調節する。	
ラジオ受信時に雑音が多く、音が悪い	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。 乾電池使用時、乾電池を2本とも新しいものと交換する。
電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などを本機から離して使用する。	携帯電話などを本機から離して使用する。
テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。	テレビから離して設置する。
音声入力時に音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。 接続した機器のバスブースト機能を使用している。	接続した機器の音量を下げる。 バスブースト機能を解除する。
電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。 乾電池使用時、乾電池を2本とも新しいものと交換する。	充電式電池使用時、充電する。 乾電池使用時、乾電池を2本とも新しいものと交換する。
接続コードがしっかりと接続されていない。	接続コードを確実に接続する。	接続コードを確実に接続する。
接続した機器のLINE OUT端子に接続している。	ヘッドホン端子に接続する。	ヘッドホン端子に接続する。
音声入力時に音が小さい、または音が出ない	電源スイッチが「切」になっている。 接続した機器の音量つまみが最小になっている。	電源スイッチを「音声入力」にする。 接続した機器の音量つまみで調節する。
接続コードがしっかりと接続されている。	接続コードを確実に接続する。	接続コードを確実に接続する。
他の機器と接続してラジオ音声を録音した音が割れる、またはノイズが出る	録音機の設定が正しくない。「ラジオの音声と録音する」のご注意または録音機器の取扱説明書を読んで設定値を直す。	録音機の設定が正しくない。「ラジオの音声と録音する」のご注意または録音機器の取扱説明書を読んで設定値を直す。

主な仕様

受信周波数	FM : 76 MHz ~ 108 MHz AM : 530 kHz ~ 1,605 kHz
スピーカー	直径 約3.6 cm 丸形 7.2 Ω 2個
入力端子	音声入力端子(Φ 3.5 mm ステレオミニジャック)1個
出力端子	Ω (ヘッドホン)端子(Φ 3.5 mm ステレオミニジャック)1個
実用最大出力	音声出力端子(Φ 3.5 mm ステレオミニジャック)1個 80 mW + 80 mW (JEITA*)
電源	DC 3 V、単3形乾電池 2本
最大外形寸法	外部電源端子 : DC IN 3V (φc)
	約155 × 78.5 × 32.5 mm (突起部含む)
質量	(幅/高さ/奥行き) 約198 g (乾電池含む)

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格。

付属品

ソニー単3形乾電池(お試し用)(2)、取扱説明書・保証書、接続コード(ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ)(1)

別売アクセサリー

録音用ケーブル(WMC-NWR1)(ウォークマン®用)

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

主な特長

- 受信状況が一目でわかる同調インジケーター付き
- ウォークマン®などをつないで音楽を楽しむ音声入力端子
- ラジオ録音に便利な音声出力端子

商標

ウォークマン、WALKMAN、WALKMANロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

型名：SRF-19

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

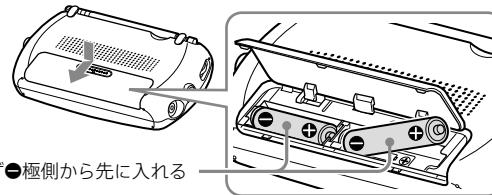
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

左記番号へ接続後、最初のガイドが流れている間に
「304」「+」「#」
を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

乾電池を入れる

ソニー単3形乾電池2本、
+と-の向きを正しく入れます。

裏面



乾電池の持続時間 (JEITA*)

(単位: 約 時間)

	FM スピーカー 使用時	AM スピーカー 使用時	音声入力 スピーカー 使用時
ソニー単3形 (LR6) アルカリ乾電池	47	52	80

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

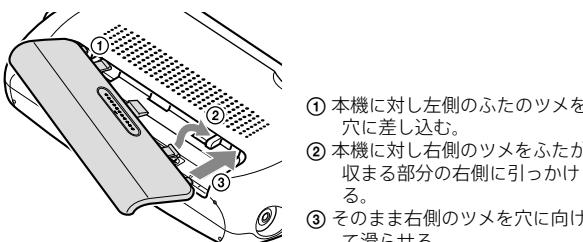
乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだり、同調インジケーターが暗くなったりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

ご注意

乾電池交換の際は、電池に表示されている使用期限を確認してください。買いつきしたまま長時間放置した乾電池は、消耗していて使えない場合があります。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。



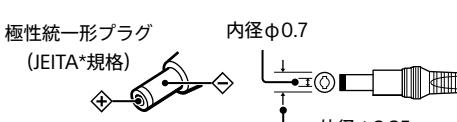
市販のACアダプターをつないで外部電源で使うには

この製品は、市販のACアダプターをDC IN 3V (φ3.5) 端子とコンセントにつないで、外部電源で使用することができます。乾電池が入っていても、自動的に外部電源に切り換わります。

使用できる市販のACアダプター

必ず以下の仕様を満たしたACアダプターをお使いください。仕様を満たさないACアダプターを使用すると本体が破損する場合があります。

- 出力電圧 3 V
- 出力電流 500 mA以上
- プラグ極性 外側の金属部が(-) / 中心電極が(+)
- プラグ形状 外径Φ2.35 / 内径Φ0.7



- トランス式 トランス式以外のものを使用するとノイズが入る場合があります。

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格。

ご注意

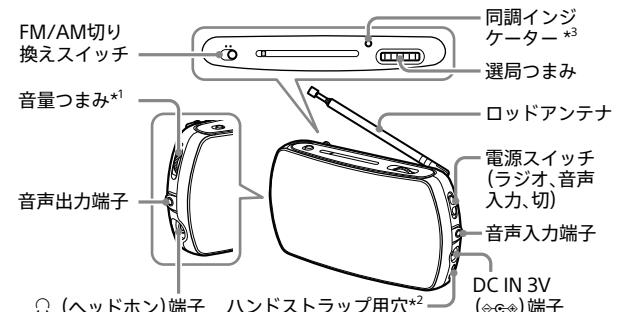
- 電池の液もれを防ぐために、外部電源でお使いの場合は、電池を取り出すことをおすすめします。
- 長い間使わないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。このときはDC IN 3V (φ3.5) 端子からプラグも抜いてください。
- 乾電池で使うときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いたあと、本機のDC IN 3V (φ3.5) 端子からプラグを抜いてください。DC IN 3V (φ3.5) 端子に外部電源のプラグがつながっていると乾電池で動作しません。

ラジオを聞く

スピーカーまたは別売りのヘッドホンで聞くことができます。

本機は、ワイドFM (FM補完放送)に対応しています。

ワイドFM放送とは、AM (中波)放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数(76MHz ~ 90MHz)に加えて、新たに割り当てられた周波数(90.1MHz ~ 95MHz)を用いてAM番組を放送することです。



*1 音量つまみ近くの音量を上げる側に凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

*2 お手持ちのハンドストラップなどを取り付けることができます。

*3 電波の強さにより受信していくてもランプが点灯しなかったり、外部の影響により受信していくなくともランプが点灯することがあります。

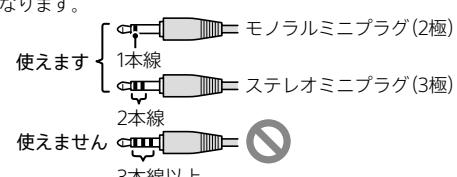
- 電源スイッチを「ラジオ」にして電源を入れる。
- FM/AM切り替えスイッチで、FMまたはAMを選ぶ。
- 選局つまみを回して、聞きたい放送局の周波数を選ぶ。
放送を受信すると同調インジケーターが赤く点灯します。
- 音量つまみで音量を調節する。

電源を切るときは

電源スイッチを「切」にします。

別売りのヘッドホンで聞くには

ヘッドホンを(ヘッドホン)端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。



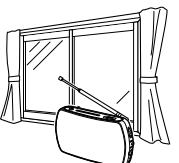
ご注意

- ラジオを聞く時は、音声入力端子から接続コードを抜いてお使いください。音声入力端子に機器が接続されたままだとラジオにノイズが入る場合があります。
- ノイズキャンセリング機能付きウォークマン®に付属されているヘッドホンは使用できません。

受信状態を良くするには (FM放送、AM放送共通)

受信環境によって電波状況が変わります。受信をよくするためには、次のことを行ってください：

- 受信しやすい場所で使用
窓際など、電波が届きやすい場所でお使いください。

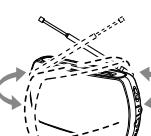


- FM放送の場合のみ、ロッドアンテナを立て、伸ばす
アンテナを立て(1)、最大限に伸ばしてください(2)。



不適切な方向へ動かそうとすると、アンテナを破損する恐れがあります。おもて面の「ロッドアンテナの取り扱いについて」をご覧ください。

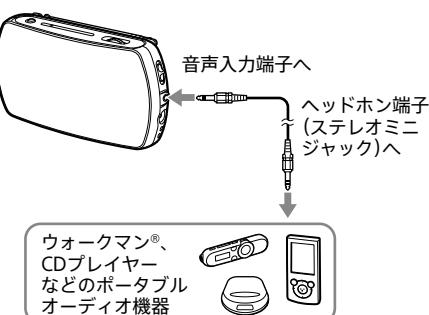
- ラジオ本体の向きを変える
本体の向きによって、受信状態が変わります。本体を最も受信状態の良い方向へ向けてください。



他の機器の音楽などを聞く

付属の接続コードでウォークマン®などを本機に接続することで、本機のスピーカーから音楽などを楽しむことができます。

1 付属の接続コードで聞きたい機器と接続する。



2 電源スイッチを「ラジオ」にして、音声入力を接続する。

3 接続した機器の電源を入れ、音楽などを再生し、音量を調節する。

4 本機の音量つまみで音量を調節する。

音が小さいときは、接続した機器の音量つまみで調節してください。

電源を切るときは

聞き終わったら必ず本機の電源スイッチを「切」にしてください。「音声入力」のままだと接続した機器の再生が終了し、音が出ていない場合でも本機の電源は切れません。

ヒント

より良い音を楽しむためには、接続した機器の音量を上げたのち、本機の音量を調節してください。

ご注意

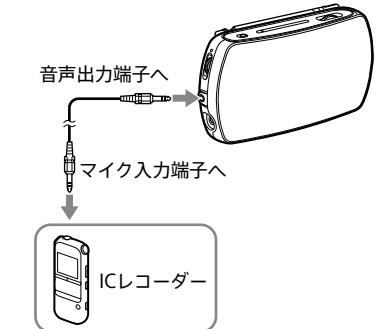
- ウォークマン®などのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。
- 接続した機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した機器の出力端子がLINE OUT端子などの固定出力の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子に接続してください。
- 接続した機器の音量を上げすぎると、音がひずむ場合があります。

ラジオの音声を録音する

ウォークマン®やICレコーダーなどにラジオの音声を録音することができます。

* ダイレクトエンコーディング機能搭載ウォークマン®。

1 付属の接続コードでICレコーダーなどの録音用機器と接続する。

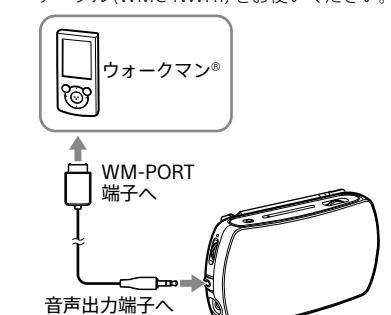


ご注意

- ソニー製のICレコーダーなどを使う場合は、外部入力選択でAUDIO INを選んでください。MIC INを選ぶと、録音された音がひずみます。

- テープレコーダーなどのマイク入力端子を使った場合は、録音された音がひずむため、外部入力端子をお使いください。

ウォークマン®との接続は別売りの録音用ケーブル(WMC-NWR1)をお使いください。



2 電源スイッチを「ラジオ」にし、録音したい放送局を受信する。

3 録音用機器で録音を開始する。

録音方法や接続コードの操作については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音中は本機と録音機はできるだけ離してください。録音された音にノイズが入る場合があります。
- 録音中は本機、接続コード、録音機に触らないでください。録音された音にノイズが入る場合があります。
- 音声出力端子からは、本機で受信しているラジオ音声のみ出力されます。音声入力端子に接続されている機器の音声は出力されません。
- 2秒以上無音が続くと、録音する機器により自動で録音が一時停止し、音の検出待ちの状態となります。再び音を検知すると、新しい曲として録音が開始される場合があります。
- 音声出力端子から出力される音声の大きさは固定です。本体の音量つまみで調節できません。

4 録音が終わったら、接続した機器の録音を停止する。

ラジオの音声を他の機器で聞く

付属の接続コードなどで本機の音声出力と他の機器のAUDIO IN、LINE INを接続すると、接続した機器で本機の受信したラジオ放送を聞くことができます。

本機のスピーカーからも音声は出力されます。音量つまみで調節してください。

接続した機器からのノイズの影響でラジオ放送が受信できなかったり、感度が低下する場合があります。